

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

116号

2010年1月18日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

新年おめでとうございます

今年も私たちのまち、常盤台のために、きちんとした批判精神を持ちつつ、様々な活動を続けたいと思います。ご支援のほど、よろしく願いいたします。

○ 「セピア色の写真展」 予告

少し早い話ですが、前号でお知らせした昭和 24 年の古いセピア色の写真を中心とした昔の常盤台写真展を行います。

5 月の連休ごろ「ギャラリー服部」でする予定です。また 70 周年の際、ロータリーで展示した昔の写真の一部も展示します。

お 願 い

昭和 21 年に常盤台学生会調査部が作成した地図をお持ちの方、ぜひご連絡ください。「板橋区の近代建築」所収の地図を復元し、上記の写真展で展示したいのですが、一応許可をいただきたいのと、不明瞭なところをお教えいただきたいのです。よろしく願いいたします。

○ クリスマスキャロルを歌いました

12月20日(日)午後5時15分～45分、常盤台駅北口ロータリーで、年末の恒例となったクリスマスキャロルのロータリーコンサートが、ときわ台まちづくり委員会主催でありました。常盤台バプテスト教会聖歌隊が親しみやすい曲ばかり選んでくれて、最後の歌は隊員が聴衆の中に入って一緒に歌いました。

キャンドルはやはり雰囲気があってよいなあと思います。今回は聖歌隊だけがロウソクを持ったので、心置きなく拍手ができました。

○ 裁判の傍聴に行きましょう

この街の将来に関わる大事な裁判が進行中です。

駅前の高層建築について5千人以上の人々が反対署名をしたのに、議会や行政は全く何も動こうとしません。住民は司法に訴えるしかないのです。この裁判はいま景観訴訟として重要性を増してきています。

藤和マンションは完成してしまっていますが、完成間近でも建築確認を取り消された例(狸の森裁判—新宿区)があるように、いわゆる「建て得」を許さない判決も出ています。

次は白木屋跡、その次は、というように、このまま諦めれば駅前には本当に屏風が立ってしまい、住宅地とは無関係な場所になってしまいます。それでも良いのですか？あなたも傍聴に参加しましょう。

次回 3月2日 11時半
東京地裁 522号法廷

○ 稲垣道子さんと 東京都開発審査会の問題

開発審査会委員として活躍していた稲垣さんが、普通4期は勤める委員をたった1期で外されたことについて、開発・建築審査会を考える会が1月11日建築会館で開かれました。公正で良識のある採決のため行政からの独立を求める委員も。しかし現在のような任命制の下では限界があるということです。問題の追及と改善はまだこれからの感です。

龍谷大学景観シンポジウムから

一月九日(土)京都龍谷大学伏見校舎において、「国立から鞆の浦へ そして未来へ」というシンポジウムがありました。運営・司会など、すべて学生が中心となり、京都内外の他の大学生、京都大学・同志社大学・立命館大学などの学生たちも参加した有意義なシンポジウムでした。

パネル展示の中に私たち常盤台のマンション紛争の経緯も、上手にまとめられて展示されていました。タカラレーベンの判決で、国立に続いて認められた景観利益が、今回の藤和マンションでの行政訴訟でどう評価されるか、鞆の浦の判決を受けて、常盤台の全国における立ち位置というものを、改めて認識しました。

鞆の浦の原告大井さんも、国立の石原さんも、画期的な判決が得られるまで、複雑な住民内部の確執があったことや、企業側からの妨害・司法手続きにおける高いハードルなど、住民原告としての悩みや苦しみを語り、次世代への期待を熱く語っていました。

政権交代はまだ完全ではなく、司法も行政も国民を舐めきっていると、ある法科の教授が述べていました。パブコメ募集など全く形骸化していると。これは常日頃実感するところです。国民を主体として扱うどころか、参加させない仕組みに慣れきっているのでしょうか。

ともあれ、若い人たちに対して希望を抱かせたシンポジウムでした。

石井幹子さん常盤台来訪

照明デザイナーの石井幹子さんが十二月十九日、三歳から四年生まで住んでいた一丁目の旧居を訪ねに見えました。近所のYさんとも亡きご両親のお話ができ、タイムスリップしたようだと言っていて、とても参考になりました。

私たちが昔の常盤台の様子や色々な人の話を聞かせていただき、とても参考になりました。

後日、石井さんがプロデュースした皇居堀端近辺のイルミネーションを楽しんできましたが、石井さんの世界的な活躍を、私たちも大いに応援したいと思いました。

板橋区景観シンポジウム

板橋区の若い職員が、景観シンポジウムで使いたいと、七十周年のロータリー写真展で展示したパネルを借りに来ました。常盤台は景観に対する住民意識が高いが、ほかの地域はまだまだなので、区民の意識向上のために企画したとのこと。

企画はどうでも、実行をしてくれないと、景観や環境は急激に変化しているので、いざ常盤台が景観法による景観重点地区に指定された時は、見る影もない道だけが取り柄という、哀れなまちになっているのではないかと思います。その責任は今の区の幹部が取ってくれるのでしょうか。

一月二十一日(木)六時半から大山グリーンホールです。参加無料です。

不法看板撤去

去年、常盤台の電柱などに貼られた不法看板は、相当数あり、ある人は一人で五百枚撤去したそうです。今年も撤去員登録の更新をしました。自分も撤去の資格を持って運動に参加しようという方はご連絡下さい。二センチ×二・五センチの写真が必要です。

常盤台公園の花づくり

水仙が咲いています。

クリスマスローズの根元から、つぼみを持ち上がりつつあります。古い大きな葉を、日当たりが良くなるよう、切り捨てました。

もうじきバラの剪定をする時期です。長く伸びた枝を剪定するのは勇気が要るものです。もったいない、かわいそう、の精神が邪魔をします。寒肥やしも施さねばなりません。こういう苦労も五月に咲ききれいな花を見れば一気に吹き飛んでしまします。全くのボランティア活動ですが、一緒にいかがですか？

定例会 2月20日(土) 七時

「ギャラリー服部」にて